

〔2〕 高齢の人々・障害のある人々のために

1 高齢の人々の生きがいと健康

- (1)「生涯現役」の環境づくり
- (2)高齢の人々の健康づくり

2 高齢の人々の生活支援

- (1)高齢の人々が安心できる生活支援
- (2)介護サービスの充実

3 障害のある人々の生活支援

- (1)障害に関する生活支援
- (2)精神障害のある人々の社会復帰への支援
- (3)発達障害者(児)へのライフステージに応じた支援

4 福祉のまちづくり

- (1)ユニバーサルデザインの促進
- (2)心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

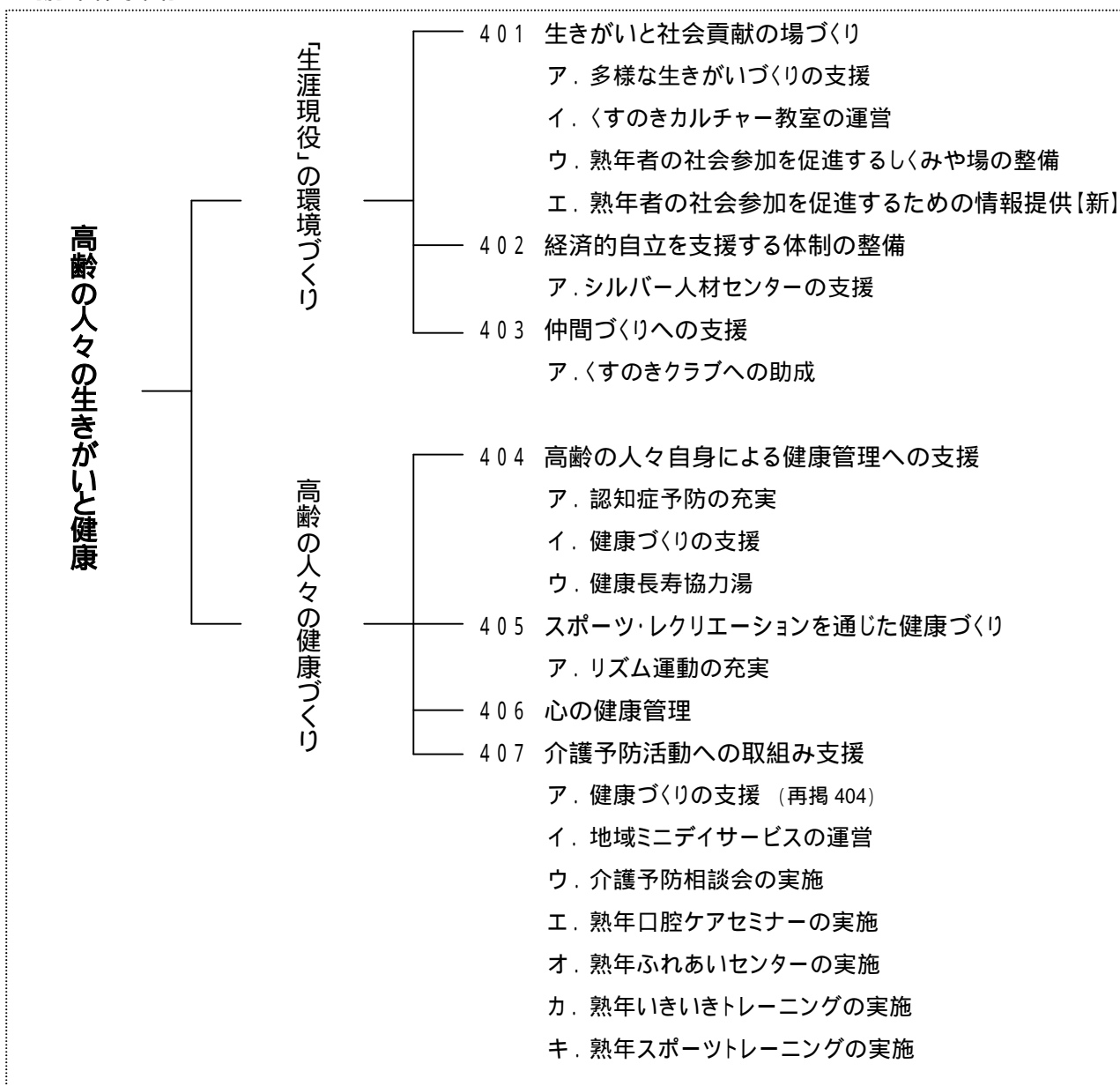
1 高齢の人々の生きがいと健康

【施策の考え方】

熟年者にとって、健康であるとともに、「生涯現役」として、自己の経験を活かして、いつまでも地域社会で活躍できることは、生きがいのある人生を送るうえで重要な考え方の一つです。

これまでも区は、くすのきカルチャー教室をはじめとする学習機会の提供やリズム運動等のスポーツ・レクリエーション事業、シルバー人材センターの生きがい就労事業、くすのきクラブや総合人生大学等の社会参加促進事業をとおして、熟年者の生きがいづくりを進めてきました。今後も、これらの取組みを基礎に、熟年者の多様化するニーズに対応した生きがいづくりを支援するとともに、介護予防を推進し、健康で生きがいのある生活を支える施策の展開を図ります。

【施策体系図】



(1) 「生涯現役」の環境づくり

401 生きがいと社会貢献の場づくり

リズム運動大会さわやか体育祭、熟年文化祭等、熟年者が生きがいをもって健康で元気な生活を送れる場の提供の充実を図っていきます。また、くすのきカルチャー教室については、自身の生きがいづくりや仲間づくりの支援を図るとともに、社会貢献活動のきっかけとなる学習の機会の提供に努めます。

熟年者の社会参加を促進するため、多様化するニーズの調査研究を行い、的確な支援策を講じていきます。また、65歳に到達する熟年者を対象に、社会参加のきっかけとなるツールとして、地域資源を盛り込んだ情報誌を提供します。

施策コード	401	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
多様な生きがいづくりの支援	継続	同左	同左	
事業費	16,684千円	18,146千円	18,146千円	
くすのきカルチャー教室の運営	正規教室 100 自主活動教室 330	同左	同左	
事業費	191,858千円	191,858千円	191,858千円	
熟年者の社会参加を促進する仕組みや場の整備	調査研究	適宜実施	同左	
事業費	0千円	千円	千円	
熟年者の社会参加を促進するための情報提供【新】	実施	継続	同左	
事業費	11,880千円	11,880千円	11,880千円	

402 経済的自立を支援する体制の整備

公益社団法人シルバー人材センター江戸川区高齢者事業団と協力し、民間企業への就業開拓等を積極的に行い、会員数の増加に応じた就業の確保を図ることで、就労を通じた熟年者の生きがいづくりを支援していきます。

施策コード	402	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
シルバー人材センターへの支援	会員数 4,300人 就業会員数 2,300人	会員数 4,300人 就業会員数 2,400人	会員数 4,300人 就業会員数 2,500人	
事業費	155,026千円	155,026千円	155,026千円	

403 仲間づくりへの支援

くすのきクラブの活動を通して、熟年者が地域において健康で生きがいのある生活を送れるように支援していきます。併せて活動の一層の活性化を図るため、多様な機会を通じて、くすのきクラブのPRを図り、加入者の増加に結び付けていきます。

施策コード	403	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
くすのきクラブへの助成	201クラブ	202クラブ	203クラブ	
事業費	52,922千円	52,922千円	52,922千円	

(2) 高齢の人々の健康づくり

404 高齢の人々自身による健康管理への支援

専門医による、もの忘れに関する相談を実施するとともに、認知症予防に関する講習会の開催、相談や支援等を行い、認知症の予防に努めます。また、運動・栄養指導、口腔保健、閉じこもり予防等に関する講座等も開催し、熟年者の生活機能低下の防止を図ります。

65歳以上の熟年者が、入浴料金の半額程度で公衆浴場を利用できるように助成することで、健康増進と地域の人々や世代間の交流を促進していきます。

施策コード	404	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
認知症予防の充実	相談の実施	同左	同左	
事業費	3,739千円	3,739千円	3,739千円	
健康づくりの支援	口腔保健、栄養、 運動指導等 の健康講座・教室の開催	同左	同左	
事業費	918千円	918千円	918千円	
健康長寿協力湯	利用者数 延1,255,000人	利用者数 延1,260,000人	利用者数 延1,265,000人	
事業費	268,848千円	268,848千円	268,848千円	

405 スポーツ・レクリエーションを通じた健康づくり

熟年者の生きがいづくりや仲間づくりの支援を図るとともに、介護予防を推進するため、リズム運動の参加人員の拡大に努めます。

施策コード	405	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
リズム運動の充実	参加実人員 10,600人	参加実人員 10,850人	参加実人員 11,000人	
事業費	132,088千円	132,088千円	132,088千円	

406 心の健康管理

高齢の人々が感じる老いへの不安、孤独感等に、きめ細かく対応する相談体制を整備します。

407 介護予防活動への取組み支援

運動・栄養指導、口腔保健等に関する講座等を地域で開催し、熟年者の生活機能の低下の防止を図り、介護が必要となる状態を予防します。また、熟年者の閉じこもりの予防等を図るため、地域ミニデイサービスを充実させます。介護が必要となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援します

65歳以上の高齢者に対して、国保、長寿、福祉の各健診と同時に「生活機能に関する基本チェックリスト」を実施し、生活支援サービス事業対象候補者を選定します。候補者に対し、地域包括支援センター(熟年相談室)で事業の案内や介護等に関する相談ができることを周知し、呼びかけます。

健診未受診者に対しては、地域包括支援センター(熟年相談室)にて同チェックリストを実施し、受診者と同様に対応します。

施策コード	407	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
健康づくりの支援 再掲404	口腔保健、栄養、 運動指導等 の健康講座・教室の開催	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	
地域ミニデイサービスの 運営	37か所	38か所	39か所	
事業費	1,894千円	2,004千円	2,114千円	
介護予防相談の充実	実施	同左	同左	
事業費	3,025千円	千円	千円	
熟年口腔ケアセミナーの 実施	実施	同左	同左	
事業費	4,461千円	千円	千円	
熟年ふれあいセンターの 実施	4か所51クラス 25名 定員	同左	同左	
事業費	250,260千円	千円	千円	
熟年いきいきトレーニングの 実施	実施	同左	同左	
事業費	109,791千円	千円	千円	
熟年スポーツトレーニングの 実施	定員480名	同左	同左	
事業費	5,812千円	千円	千円	

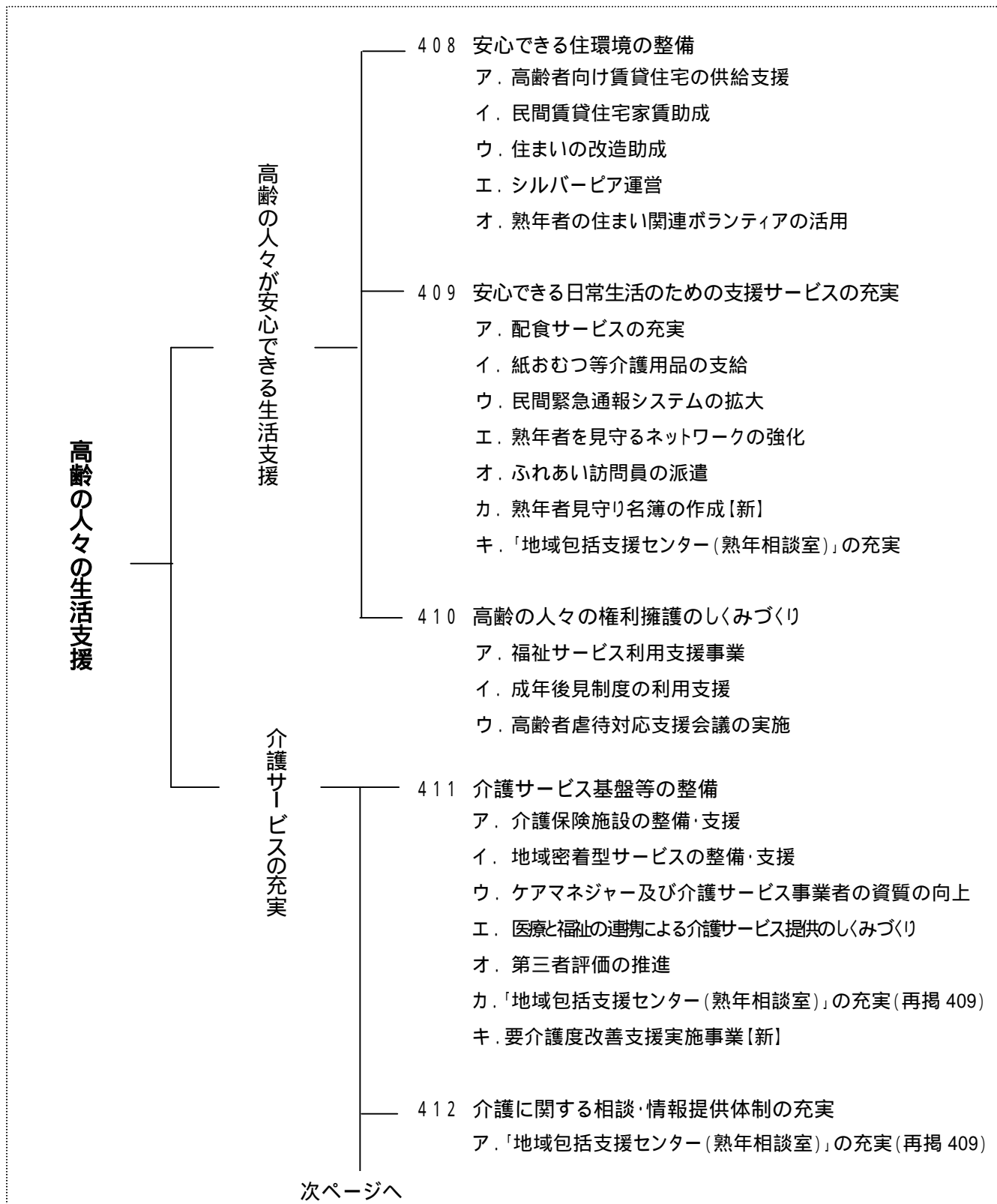
「-」:事業費は、健康づくりの支援(施策コード404)の中で計上しています。

2 高齢の人々の生活支援

【施策の考え方】

高齢の人々が、日常生活を安心して送れるようきめ細かな支援を行います。また、介護が必要となったときに、住み慣れた地域で安心して生活していくことができるよう、介護サービスの基盤整備を進めるとともに、保健・医療・福祉の一体的なサービス提供のしくみづくり、介護の相談体制の充実等を図り、適切なサービスが提供できる体制を整備します。

【施策体系図】



前ページより

- 413 介護に関する人材・ボランティア団体の育成
 - ア. 介護に関する人材・ボランティア団体の育成
 - イ. 社会福祉士等卒後連携事業
- 414 認知症の高齢の人々に対する支援の充実
 - ア. 認知症地域ネットワーク活用事業の実施
 - イ. 認知症サポーター養成講座の実施
 - ウ. 「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実(再掲409)

(1) 高齢の人々が安心できる生活支援

408 安心できる住環境の整備

熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けられるよう、その状態に応じた多様な住まいの普及・整備の促進に努めるとともに、高齢者向け賃貸住宅の供給支援、民間賃貸住宅家賃助成、住まいの改造助成、シルバーピア運営等の実施を推進することにより、熟年者がより安心して住み続けられる住まいの確保・改善等を図ります。

民間賃貸住宅家賃助成：建物の取り壊し等で家主から転居を迫られた熟年者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、緊急処置として住み替え家賃の差額を助成する。

施策コード	408	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
高齢者向け賃貸住宅の供給支援	高齢者向け賃貸住宅の供給支援	同左	同左	同左
事業費	66,612千円	69,000千円	69,000千円	69,000千円
民間賃貸住宅家賃助成	250件	同左	同左	同左
事業費	83,016千円	83,000千円	83,000千円	83,000千円
住まいの改造助成	150件	同左	同左	同左
事業費	51,330千円	51,330千円	51,330千円	51,330千円
シルバーピア運営	50世帯	同左	同左	同左
事業費	6,522千円	6,500千円	6,500千円	6,500千円
熟年者の住まい関連ボランティアの活用	ボランティアの活用	同左	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円

409 安心できる日常生活のための支援サービスの充実

民生委員、地域包括支援センター等と連携を図りながら、熟年者の安否確認等を行う地域ネットワーク体制の充実を図るとともに、民間緊急通報システムを活用し、熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けられる体制づくりに努めます。また、食事づくりが困難な熟年者に対する配食サービスの実施により、いきがいと潤いのある生活の維持を図ります。

見守りネットワークの互助の体制づくりを目的として「熟年者見守り名簿」を作成し、希望する町会・自治会等に名簿を提供します。

施策コード	409	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
配食サービスの充実	一般向け配食 利用者310人/月	同左	同左	
	虚弱者向け配食 利用者430人/月	虚弱者向け配食 利用者435人/月	虚弱者向け配食 利用者440人/月	
事業費	48,135千円	48,347千円	48,561千円	
紙おむつ等介護用品の支給	延べ64,263人	延べ66,834人	延べ68,839人	
事業費	376,370千円	391,425千円	403,168千円	
民間緊急通報システム の拡大	設置数1,180か所	設置数 1,300か所	設置数 1,420か所	
事業費	20,532千円	22,897千円	25,057千円	
熟年者を見守るネットワーク の強化	運営体制の強化	同左	同左	
事業費	1,150千円	1,150千円	1,150千円	
ふれあい訪問員の派遣	訪問員数120人 対象世帯の拡大	訪問員数122人 同左	訪問員数125人 同左	
事業費	5,098千円	5,134千円	5,188千円	
熟年者見守り名簿の作成 【新】	32,000世帯 (38,000人)	新たに対象となった 方を調査・追加	同左	
事業費	9,915千円	千円	千円	
「地域包括支援センター (熟年相談室)」の充実	体制整備及び 事業の充実	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	

「-」:事業費は、「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実(施策コード412)の中で計上しています。

410 高齢の人々の権利擁護のしくみづくり

社会福祉協議会の安心生活センターを権利擁護の中核的な機関として位置づけ、社会福祉協議会による法人後見事業、区長申立て及び職能後見人等への報酬助成事業を実施します。また、熟年者支援ネットワークの

検討部会(高齢者権利擁護・虐待事例検討会)として開催し、関係機関との連携を密にしていきます。

成年後見制度:判断能力の不十分な認知症高齢者や知的障害のある人、精神障害のある人等を保護するための民法上の制度。

施策コード	410	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
福祉サービス利用支援事業	相談事業等の充実 安心生活サポート事業 55件	相談事業等の充実 安心生活サポート事業 60件	相談事業等の充実 安心生活サポート事業 65件	
事業費	3,891千円	3,891千円	3,891千円	
成年後見制度の利用支援	法人後見 40件(累計) 区長申立て 50件 職能後見人等への 報酬助成 25件	法人後見45件(累計) 区長申立て 55件 職能後見人等への 報酬助成 25件	法人後見 50件(累計) 区長申立て 60件 職能後見人等への 報酬助成 25件	
事業費	7,793千円	7,793千円	7,793千円	
高齢者虐待対応支援会議の 実施	高齢者虐待対応 支援会議の実施	同左	同左	
事業費	321千円	千円	千円	

(2)介護サービスの充実

411 介護サービス基盤等の整備

「江戸川区介護保険事業計画」に基づき、適切な介護サービスの基盤整備を支援します。併せて、地域密着型サービス事業者に対する第三者評価の実施の支援、介護支援専門員及び介護サービス事業者に対する研修等を実施し、介護サービスの質の向上に努めます。また、平成27年度より特別養護老人ホームと介護老人保健施設の施設サービスにより入所者の要介護度を改善した事業者に対する支援を行います。

施策コード	411	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
介護保険施設の整備・支援	介護老人福祉施設 2ヶ所の整備支援	介護老人福祉施設 1ヶ所開設	同左	
事業費	千円	千円	千円	
地域密着型サービスの 整備・支援	小規模多機能型 居宅介護等の整備	整備支援	同左	
事業費	62,000千円	千円	千円	
ケアマネジャー及び介護サ ービス事業者の資質の向上	介護事業者向け研修の 充実	同左	同左	
事業費	7,715千円	千円	千円	
医療と福祉の連携による介護 サービス提供のしくみづくり	介護連絡ノートの 普及・推進	同左	同左	
事業費	840千円	千円	千円	

第三者評価の推進	地域密着型サービス第三者評価受審費用助成	同左	同左
事業費	13,960千円	千円	千円
「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実再掲412	体制整備及び事業の充実	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
要介護度改善支援実施事業【新】	翌年度交付対象事業者の確認(事業初年度)	奨励金交付 翌年度交付対象事業者の確認	同左
事業費	0千円	千円	千円

「-」:事業費は、「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実(施策コード412)の中で計上しています。

412 介護に関する相談・情報提供体制の充実

地域包括支援センター(熟年相談室:現在18センター、8分室)については、地域包括ケアシステムの中核機関として、その機能を十分に発揮するため、地域の実情に合わせて相談体制を強化します。

また、介護保険制度改正により、新たな地域包括支援事業として位置付けられた3事業の充実を図ります。

○在宅医療と介護の連携・・・居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の研修や課題抽出のための会議を実施

○認知症施策の推進・・・認知症地域支援推進の配置等、地域の実情に合わせて相談体制を強化

○生活支援サービスの体制整備・・・地域包括ケアシステムの中核機関を担うための体制を整備急速に高齢化する地域の熟年者やその家族を継続的・包括的に支える地域包括ケアシステムの中核機関として、その機能を十分に発揮する体制の整備

施策コード	412	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実再掲412	体制整備及び事業の充実	同左	同左	同左
事業費	88,600千円	千円	千円	千円

413 介護に関する人材・ボランティア団体の育成

ボランティアセンターとの連携を図りながら、介護に関する人材・ボランティア団体を育成します。

また、区が、区内の専門学校卒業生を最長3年間、福祉・介護支援員(非常勤職員)として雇用し、福祉及び介護分野における多様な問題に対応できる人材として育成します。

施策コード	413	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
介護に関する人材・ボランティア団体の育成	熟年介護サポーターの育成・活動内容の拡充	同左	同左	同左
事業費	3,391千円	千円	千円	千円

社会福祉士等卒後連携事業	採用数5人(予定)	継続	同左
事業費	19,141千円	千円	千円

414 認知症の高齢の人々に対する支援の充実

江戸川区医師会地域包括支援センター(熟年相談室)を中心として、認知症への理解を広く地域に浸透させるとともに、認知症ホットライン、総合窓口相談の設置、地域包括支援センター(熟年相談室)や介護サービス事業者等からの相談対応、認知症の早期発見、早期対応に努めます。併せて地域の関係機関との連携を推進します。また、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症に対する社会的な理解を深めるとともに、認知症サポーターの活躍の場等を検討します。

施策コード	414	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
認知症地域ネットワーク活用事業の実施	実施	同左	同左	
事業費	7,236千円	千円	千円	
認知症サポーター養成講座の実施	1,800人	同左	同左	
事業費	1,360千円	766千円	1,360千円	
「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実再掲412	体制整備及び事業の充実	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	

「-」:事業費は、「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実(施策コード412)の中で計上しています。

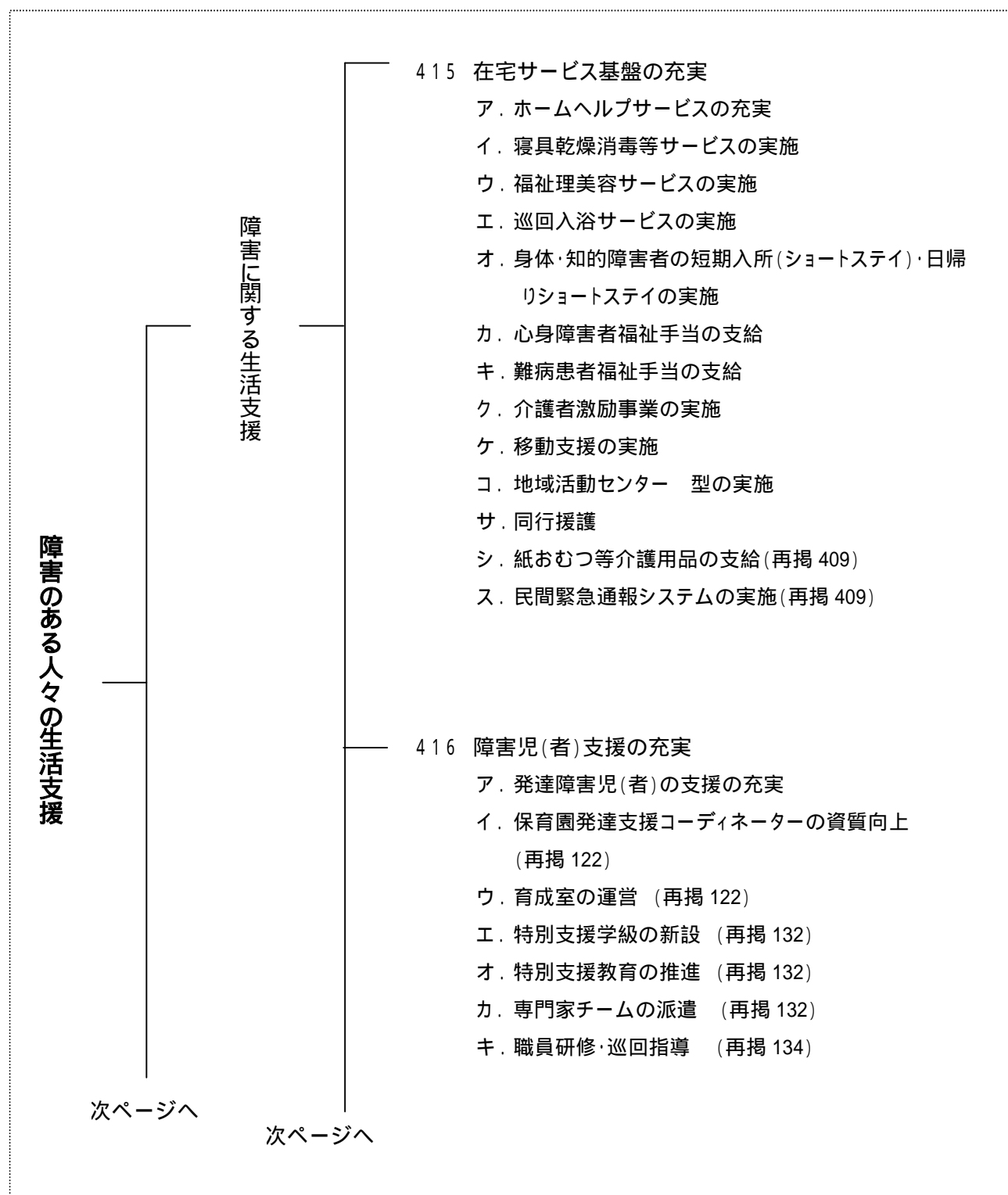
3 障害のある人々の生活支援

【施策の考え方】

身体、知的及び精神障害のある人々とその家族が、地域の中で自立して生活ができ、安心して毎日が暮らせるよう、地域生活支援の充実を図ります。また、生きがいをもって生活を営める環境を整えるため、職業訓練や就労の場づくり、安心して住める多様な住宅の整備、施設の充実等を進めます。

特に精神障害のある人々については、地域生活を支援するサービスの基盤整備を図り、医療と連携した生活相談、訓練等を通じた社会復帰を支援します。

【施策体系図】



前ページより

前ページより

- 4 1 7 障害のある人々の健康支援
 - ア. 江戸川区口腔保健センターへの事業補助
 - イ. 中途障害者へのリハビリテーションの実施
 - ウ. リハビリテーション相談
リハビリテーション関係者に対する支援と連携の推進
 - エ. 在宅リハビリテーション指導の実施
- 4 1 8 障害に関する身近な相談・情報提供体制の充実
 - ア. 地域自立支援協議会の開催
- 4 1 9 職業訓練と就労の場づくり
 - ア. 障害者就労支援センターの運営
- 4 2 0 生きがいと社会貢献の場づくり
 - ア. 福祉タクシー券の助成
 - イ. 自動車燃料費の助成
 - ウ. 自動車運転教習費の助成
 - エ. 身体障害者用自動車改造費の助成
- 4 2 1 障害のある人々が安心して住める多様な住宅の整備
 - ア. 知的障害者グループホーム等の運営支援
 - イ. 民間賃貸住宅家賃助成
 - ウ. 住まいの改造助成
- 4 2 2 身近な地域での施設整備
 - ア. 区立障害者施設の充実

精神障害のある人々の
社会復帰への支援

- 4 2 3 自助グループなどへの支援
 - ア. 家族会が主体的に活動するための支援
- 4 2 4 社会復帰への支援
 - ア. 心の専門グループワークの実施
 - イ. 総合的相談体制の整備
 - ウ. 医療と連携した社会復帰支援
 - エ. 自立のための支援施策の充実
 - オ. 就労訓練や就労の場づくり
 - カ. 作業・レクリエーション・交流等を通じた居場所づくり
- 4 2 5 精神障害のある人々についての理解促進
 - ア. 民間事業者やNPO等サービス供給主体の指導・育成・相談体制の整備

次ページへ

前ページより

発達障害者(児)への
ライフステージに応じた支援

426 発達障害者(児)への支援

- ア. 早期発見のための乳幼児健診の充実 (再掲 303)
- イ. 発達障害支援会議の運営 (再掲 416)
- ウ. 乳幼児施設等巡回支援事業 (再掲 416)
- エ. 発達障害支援民間事業所支援力向上研修費助成事業
- オ. 支援者向け情報ガイドの配付
- カ. サポートファイルの配付・普及(再掲 416)
- キ. 発達障害相談センター相談事業の充実 (再掲 416)
- ク. 各種講座の企画の実施(再掲 416)
- ケ. 理解普及啓発事業の実施 (再掲 416)
- コ. 保育園発達支援コーディネーターの資質向上(再掲 122)
- サ. 育成室の運営 (再掲 122)
- シ. 特別支援学級の新設 (再掲 132)
- ス. 特別支援教育の推進 (再掲 132)
- セ. 専門家チームの派遣 (再掲 132)
- ソ. 教育相談事業の充実 (再掲 114)
- タ. 職員研修・巡回指導 (再掲 134)

(1) 障害に関する生活支援

415 在宅サービス基盤の充実

障害者の社会参加の促進及び生活の質の向上を図るため、「江戸川区障害福祉計画」に基づき、障害福祉サービスの基盤整備の支援及び地域生活支援事業の充実に努めます。

施策コード	415	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
ホームヘルプサービスの充実		実施	同左	同左
事業費		4,668,110千円	千円	千円
寝具乾燥消毒等サービスの 実施		実施	同左	同左
事業費		9,983 千円	10,065 千円	10,293 千円
福祉理美容サービスの実施		実施	同左	同左
事業費		9,983 千円	8,501 千円	8,501 千円
巡回入浴サービスの充実		実施	同左	同左
事業費		54,193千円	55,277千円	56,383千円

身体・知的障害者の短期入所(ショートステイ)・日帰りショートステイの実施	実施	同左	同左
事業費	192,117千円	千円	千円
心身障害者福祉手当の支給	実施	同左	同左
事業費	2,173,860千円	2,186,493千円	2,199,777千円
難病患者福祉手当の支給	実施	同左	同左
事業費	106,200千円	101,421千円	96,858千円
移動支援の実施	実施	同左	同左
事業費	591,933千円	千円	千円
地域活動センター型の実施	実施	同左	同左
事業費	80,608千円	千円	千円
同行援護	実施	同左	同左
事業費	114,673千円	千円	千円
紙おむつ等介護用品の支給 再掲409	実施	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
民間緊急通報システムの実施 再掲409	実施	同左	同左
事業費	千円	千円	千円

地域活動支援センター型:創作的活動等の提供等の他に、機能訓練、社会的適応訓練、入浴等のサービスを実施する機関。
「-」:事業費は、紙おむつ等介護用品の支給、民間緊急通報システムの実施(施策コード409)の中で計上しています。

416 障害児(者)支援の充実

育成室の充実や障害を有する児童一人ひとりに応じた、適切な教育支援ができるよう、特別支援学級の新設等を行います。また、個々の児童・生徒の障害に応じた教育活動を推進するために、研究校を指定して、区の特別支援教育をレベルアップしていきます。専門研修では、都立特別支援学校との連携を図り、内容の充実を図ります。

通常学級に在籍している発達障害のある児童生徒は年々増加しています。その子ども達への望ましい教育的対応について専門家から意見の提示や助言を受けることで個々の児童生徒への支援につながっており、これからも新たな専門家の確保に努めながら事業を展開していきます。

発達障害に関する各部署及び機関が適切に連携し、情報の共有を図ることにより発達障害者(児)への支援等を一層向上させるために各会議を開催します。また、区内で発達障害に関する相談・支援に携わる支援者向けに、他機関の取り組みや事業内容・サービス内容を掲載した支援者向け情報ガイドを作成し配付します。

家庭と支援機関の情報共有、次ステージへの引き継ぎ支援のツールとなるサポートファイル我希望する保護者に配付し、活用講座を開催するとともに、その普及を図ります。

発達障害:発達障害者支援法第2条の定義に基づき、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(AD/HD)その他これに類する脳機能の障害であってその症状が低年齢において出現するもの。

学習障害(LD):基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち

特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

注意欠陥多動性障害(AD/HD):不注意、多動性及び衝動性を中心とした症状とする発達障害。

施策コード	416	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
発達障害児(者)の 支援の充実	発達障害支援会議等 の運営・連携の推進		同左	同左
	乳幼児施設等巡回支 援事業の実施		同左	同左
	発達障害支援民間事 業所支援力向上研修 費助成事業の実施		同左	同左
	支援者向け情報ガイド の配付		同左	同左
	サポートファイルの配 付・普及		同左	同左
	発達障害相談センター 相談事業の充実		同左	同左
	各種講座の企画の 実施と検証		推進	同左
	理解普及啓発事業の 実施		推進	同左
事業費	千円	千円	千円	
保育園発達支援コーディネ ーターの資質の向上 再掲122	資質の向上 関係機関との連携強化	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	
育成室の運営 再掲122	療育の充実 発達相談の充実 育成室新設準備	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	
特別支援学級の新設 再掲132	春江小学校(知的) 東葛西小学校(情緒) 小岩第五中学校(知的)	新田小学校(知的) 小学校(言語) 対象校は未定		
事業費	千円	千円	千円	
特別支援教育の推進 再掲132	エンカレッジルーム の設置	エンカレッジルームを 活用した教育の充実	同左	
	特別支援教育研修	同左	同左	
	専門研修の実施	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	

専門家チームの派遣 再掲132	推進	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
教育相談事業の充実 再掲114	相談室4ヶ所	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
職員研修・巡回指導 再掲134	実施(10校・3回)	同左	同左
事業費	千円	千円	千円

「-」:事業費は、発達障害児(者)の支援の充実(施策コード426)、保育園発達支援コーディネーターの資質の向上、育成室の運営、(施策コード122)、特別支援学級の新設、特別支援教育の推進、専門家チームの派遣(施策コード132)、教育相談事業の充実(施策コード114)職員研修・巡回指導(施策コード134)の中で計上しています。

417 障害のある人々の健康支援

江戸川区口腔保健センターにおける障害者(児)等の歯科診療の充実と口腔ケアの向上を図るため、引き続き歯科医師会と連携し、運営支援を行います。

理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士が、疾病、外傷や加齢により生活機能に支障を生じた区民のリハビリテーションに関する相談・支援を行います。また、リハビリテーションや介護に関わる事業者などに対して、技術の向上のため知識及び技術の普及を図るとともに、リハビリサービス情報の一元化やネットワークづくりにより、リハビリ関係者が主体的に生活支援などのサービスが提供できる環境づくりを進めます。

施策コード	417	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
江戸川区口腔保健センターへの事業補助	運営支援	同左	同左	同左
事業費		109,786千円	110,839千円	111,708千円
中途障害者へのリハビリテーションの実施	自立支援セミナー(リハビリ教室)の実施 46回	同左	同左	同左
事業費		1,289千円	1,289千円	1,289千円
リハビリテーション相談	随時相談(訪問・電話等) 相談日 年42回	同左	同左	同左
事業費		1,018千円	1,018千円	1,018千円
リハビリテーション関係者に対する支援と連携の推進	講習会の開催 3回 リハビリテーション研修の開催1回 リハビリテーション連絡会の開催	同左	同左	同左
事業費		115千円	115千円	115千円

在宅リハビリテーション指導 の実施	リハビリテーション指導 (訪問・電話等)	同左	同左
事業費	57千円	57千円	57千円

418 障害に関する身近な相談・情報提供体制の充実

障害のある方の地域における自立した生活を支えるため、医療、保健、福祉、教育及び就労等に関わる機関とのネットワーク構築を推進する中核機関として開催し、地域の関係機関との連携等についての協議、障害福祉計画策定に際しての意見聴取等を行います。

施策コード	418	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
地域自立支援協議会の開催		3回	同左	同左
事業費		467千円	467千円	467千円

419 職業訓練と就労の場づくり

一般就労への移行を推進するため、「江戸川区障害福祉計画」に基づき、企業、養護学校、公共職業安定所等の関係機関との連携を図りながら、就労支援等に努めます。

施策コード	419	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
障害者就労支援センターの 運営		実施	同左	同左
事業費		66,418千円	66,418千円	66,418千円

420 生きがいと社会貢献の場づくり

障害者の自立と社会参加の拡大を図るため、外出困難な身体又は知的障害者に対し、タクシーの乗車に係る料金の一部を助成するとともに、一定の障害を有する身体障害者が自ら使用する自動車、一定の障害を有する身体障害又は知的障害者(児)の介護者が運転する自動車燃料費の一部を助成します。また、社会参加及び生活圏の拡大を図るため、心身障害者が自動車運転免許を取得する際の教習費の一部を助成します。

施策コード	420	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
福祉タクシー券の助成		実施	同左	同左
事業費		218,267千円	226,775千円	228,979千円
自動車燃料の助成		実施	同左	同左
事業費		63,225千円	65,144千円	67,070千円
自動車運転教習費の助成		実施	同左	同左
事業費		2,000千円	2,000千円	2,000千円
身体障害者用自動車改造費 の助成		実施	同左	同左
事業費		3,000千円	3,000千円	3,000千円

421 障害のある人々が安心して住める多様な住宅の整備

障害者が、住み慣れた地域でいつまでも安心して生活が続けられるよう、グループホーム等の運営支援を行います。また、住まいの改造等、住居の整備を支援します。

施策コード	421	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
知的障害者グループホーム等の運営支援	実施	同左	同左	
事業費	20,701千円	千円	千円	
民間賃貸住宅家賃助成	実施	同左	同左	
事業費	5,804千円	5,804千円	5,804千円	
住まいの改造助成	実施	同左	同左	
事業費	6,668千円	6,668千円	6,668千円	

422 身近な地域での施設整備

民間事業者等のノウハウや経営手法を活用することにより、利用者のニーズに対応したきめ細かなサービスの提供を行っていきます。

施策コード	422	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
区立障害者施設の充実	区立障害者施設の指定管理者による運営	同左	同左	
事業費	2,501,602千円	2,501,602千円	2,501,602千円	

(2) 精神障害のある人々の社会復帰への支援

423 自助グループなどへの支援

家族が互いの悩みや気持ちを分かち合い、精神的な負担を軽減することで、生き生きとした生活に結びつくよう、交流の場づくりや学習会・講演会の開催等の活動を支援していきます。

施策コード	423	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
家族会が主体的に活動するための支援	活動費の助成	同左	同左	
事業費	200千円	200千円	200千円	

424 社会復帰への支援

精神障害者とその家族が、地域で安心して暮らすための総合的・包括的な支援体制づくりをすすめ、入院生活から地域移行に向けた相談支援、個々のニーズに応じた就労支援、日中活動の場の整備等を推進していきます。また、病気の再発・悪化防止に留意し、保健医療福祉等の連携を密にして、きめ細やかな支援体制を構築します。

施策コード	424	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
心の専門グループワークの実施	8ヶ所	同左	同左	
事業費	11,601千円	11,601千円	11,601千円	
総合的相談体制の整備	地域活動支援センター型と相談支援事業所の役割分担の明確化	地域活動支援センター型と相談支援事業所の整備	同左	
事業費	71,034千円	71,034千円	71,034千円	
医療と連携した社会復帰支援	地域移行及び地域定着の推進	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	
自立のための支援施策の充実	地域生活安定化支援・居住支援・自立生活体験事業の実施	同左	同左	
事業費	29,596千円	29,596千円	29,596千円	
就労訓練や就労の場づくり	就労支援事業の実施、就労移行事業所等への運営費等助成	同左	同左	
事業費	71,015千円	71,015千円	71,015千円	
作業・レクリエーション・交流などを通じての居場所づくり	地域活動支援センター型の運営費補助	同左	同左	
事業費	41,725千円	41,725千円	41,725千円	

地域活動支援センター 型: 創作的活動等の提供等の他に、精神保健福祉士等を配置し、関係機関等との連携を図りながら、相談支援等を実施する事業所。

地域活動支援センター 型: 創作的活動等の提供等の他に、レクリエーションやミーティング等を実施する事業所。

425 精神障害のある人々についての理解促進

サービス事業者の新規開拓と資質向上を目指し、精神障害者に対する正しい知識と支援法を学ぶための講座を開催します。また、地域住民の障害者に対する理解の促進を図り、支援施設・事業所等で活動するボランティア育成を進めます。

施策コード	425	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
民間事業者やNPOなどサービス提供主体の指導・育成・相談体制の整備	事業者研修・ボランティア養成講座の開催	同左	同左	
事業費	124千円	124千円	124千円	

(3) 発達障害者(児)へのライフステージに応じた支援

426 発達障害者(児)への支援

乳幼児健診や集団の場等において、早期発見できる体制の充実を図ります。

発達障害相談センターは、江戸川区の発達障害支援の窓口として相談事業の充実を図り、ライフステージにおける一貫した支援を継続するため、必要に応じ各機関と連絡調整を行うコーディネーター機能を担います。また、発達障害に関する各部署及び機関が適切に連携し、情報の共有を図ることにより、発達障害者(児)への支援等を一層向上させるため、各会議を開催します。

家庭と支援機関の情報共有、次ステージへの引き継ぎ支援のツールとなるサポートファイルを希望する保護者に配付し、活用講座を開催するとともに、その普及を図ります。

区内の乳幼児施設等に心理相談員を派遣する巡回支援事業、支援者向け情報ガイドの作成・配付及び児童発達支援事業所等が実施する研修等への助成など支援者への支援を実施します。

併せて、発達障害への理解を普及するため、リーフレットの配布や講演会を実施します。

また、育成室は、集団療育、個別療育、相談等を実施し、障害児の成長を支援していきます。さらに、新設の育成室開設に向けて準備していきます。

発達障害児の増加に対応するため、小・中学校に特別支援学級の新設、エンカレッジルームの活用及び専門家の派遣など、教育研究所の相談とともに、特別支援教育の推進を図ります。

発達障害・発達障害者支援法第2条の定義に基づき、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(AD/HD)その他これに類する脳機能の障害であってその症状が低年齢において出現するもの。学習障害(LD):基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

注意欠陥多動性障害(AD/HD):不注意、多動性及び衝動性を中心とした症状とする発達障害。

施策コード	426	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
早期発見のための乳幼児健診の充実 再掲303	実施	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	
発達障害支援会議の運営 再掲416	連携の推進	同左	同左	
事業費	260千円	千円	千円	
乳幼児施設等巡回支援事業 再掲416	実施	同左	同左	
事業費	7,927千円	千円	千円	
発達障害支援民間事業所支援力向上研修費助成事業 再掲416	実施	同左	同左	
事業費	1,000千円	千円	千円	
支援者向け情報ガイドの配付 再掲416	実施	同左	同左	
事業費	120千円	千円	千円	
サポートファイルの配付・普及 再掲416	実施	同左	同左	
事業費	571千円	千円	千円	

発達障害相談センター 相談事業の充実 再掲416	実施	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
各種講座の企画の実施 再掲416	実施・検証	推進	同左
事業費	417千円	千円	千円
理解普及啓発事業の実施 再掲416	リーフレット配付・講演 会等の実施	同左	同左
事業費	878千円	878千円	878千円
保育園発達支援コーディネーターの資質の向上 再掲122	資質の向上 関係機関との連携強化	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
育成室の運営 再掲122	療育の充実 発達相談の充実 育成室新設準備	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
特別支援学級の新設 再掲132	春江小学校(知的) 東葛西小学校(情緒) 小岩第五中学校(知的)	新田小学校(知的) 小学校(言語) 対象校は未定	
事業費	千円	千円	千円
特別支援教育の推進 再掲132	エンカレッジルーム の設置	エンカレッジルームの 活用した教育の充実	同左
	特別支援教育研修	同左	同左
	専門研修の実施	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
専門家チームの派遣 再掲132	推進	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
教育相談事業の充実 再掲114	相談室4ヶ所	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
職員研修・巡回指導 再掲134	実施(10校・3回)	同左	同左
事業費	千円	千円	千円

「-」:事業費は、母子保健の充実(乳幼児健診の実施)(施策コード303)、保育園発達支援コーディネーターの資質の向上、育成室の運営、教育相談事業の充実(施策コード114)、特別支援学級の新設・移設、特別支援教育の推進、専門家チームの派遣(施策コード132)、職員研修・巡回指導(施策コード134)の中で計上しています。

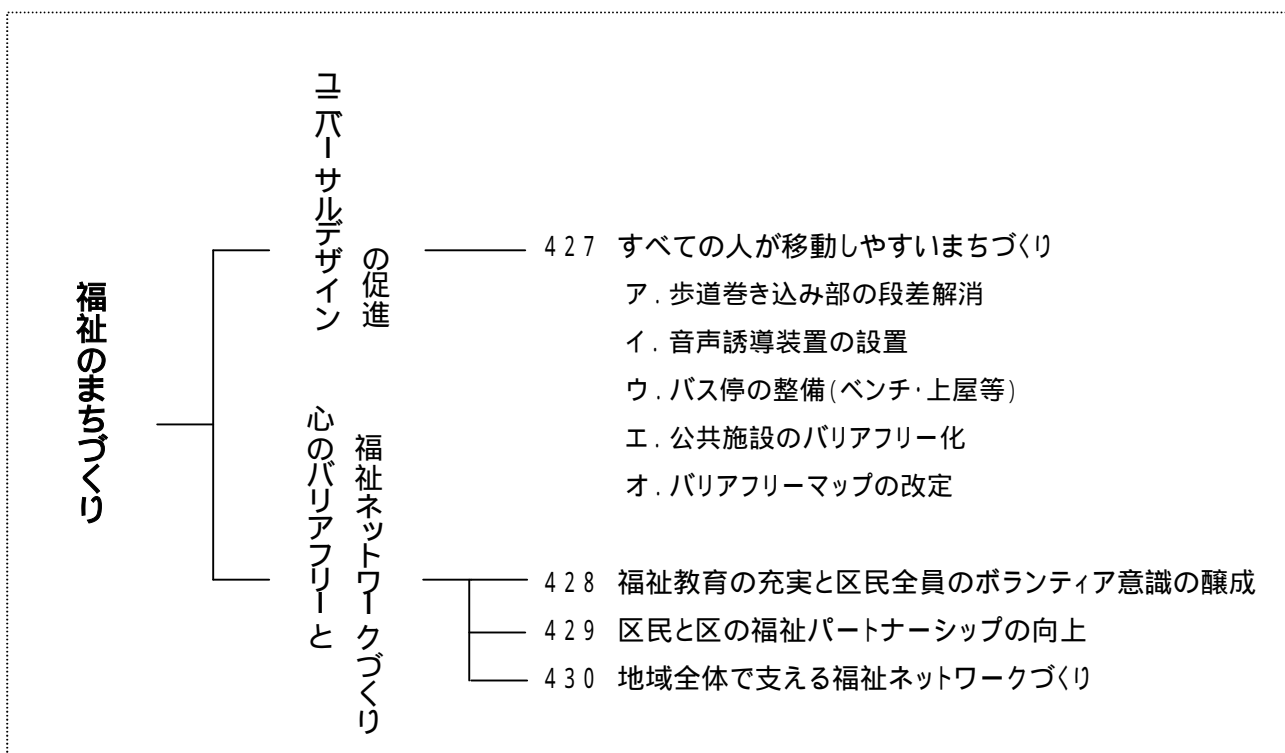
4 福祉のまちづくり

【施策の考え方】

歩道の拡幅、道路段差の解消、公共施設のバリアフリー化等を推進し、年齢、障害の有無等に関わりなく、区民誰もが活動の場を広げ、社会参加のしやすいまちづくりを進めます。

また、すべての区民がたすけあい、支えあい、ともに生きる社会をつくるために、子どもの頃から福祉の関心を高めるよう地域社会、学校、職場等のあらゆる場で心のバリアフリーを推進し、区民全員のボランティア意識の醸成、福祉ネットワークの形成等に取り組めます。

【施策体系図】



(1)ユニバーサルデザイン の促進

427 すべての人が移動しやすいまちづくり

バリアフリー のまちづくりを進めるために、歩道巻き込み部の段差解消、音声誘導装置の設置、バス停の整備等を推進するとともに、エレベーターや自動扉の設置、多目的手洗所への改修等のバリアフリー化を推進します。また、誰もが利用しやすく快適に移動できる駅の整備を、鉄道事業者に要請します。

誰もが安心して街に出かけ施設利用ができるように、バリアフリーマップの改定版を作成し、周知及び活用に努めます。

ユニバーサルデザイン：年齢、性別、能力の有無等にかかわらず、どんな人でも使えるように設計されたデザイン。

バリアフリー：人が生活する上で妨げとなる障害(バリア)が街、施設、道路、住宅、人々の意識、社会等から取り除かれた状態。

施策コード	427	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
歩道巻き込み部の段差解消		道路改修及び占用工事にあわせて改修	同左	同左
事業費		50,000千円	50,000千円	50,000千円
音声誘導装置の設置		設置工事4基	設置工事2基	同左
事業費		2,808千円	1,404千円	1,404千円

バス停の整備 (ベンチ・上屋等)	0ヶ所	2ヶ所	同左
事業費	0千円	11,016千円	11,016千円
公共施設のバリアフリー化	手洗所改修2施設	手洗所改修6施設	同左
事業費	132,192千円	396,000千円	396,000千円
バリアフリーマップの改定	2000冊作成	配布	同左
事業費	5,500千円	0千円	0千円

(2)心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

428 福祉教育の充実と区民全員のボランティア意識の醸成

福祉教育の充実により区民全員のボランティア意識の醸成を図ります。

429 区民と区の福祉パートナーシップの向上

地域で福祉を支えられるように、区民と区の福祉パートナーシップの向上に取り組めます。

430 地域全体で支える福祉ネットワークづくり

すべての人が地域の中で安心して社会生活が送れるよう、地域福祉を担う関係機関等の連携を強化していきます。